

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2022.10.24-30**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

## 24日 月曜

### 創世記



39:1 一方、ヨセフはエジプトへ連れて行かれた。ファラオの廷臣で侍従長のポティファルという一人のエジプト人が、ヨセフを連れ下ったイシュマエル人の手からヨセフを買収した。

39:2 【主】がヨセフとともにおられたので、彼は成功する者となり、そのエジプト人の主人の家に住んだ。

39:3 彼の主人は、【主】が彼とともにおられ、【主】が彼のすることすべてを彼に成功させてくださるのを見た。

39:4 それでヨセフは主人の好意を得て、彼のそば近くで仕えることになった。主人は彼にその家を管理させ、自分の全財産を彼に委ねた。

39:5 主人が彼にその家と全財産を管理させたときから、【主】はヨセフのゆえに、このエジプト人の家を祝福された。それで、【主】の祝福が、家や野にある全財産の上にあった。

39:6 主人はヨセフの手に全財産を任せ、自分が食べる食物のこと以外は、何も気を使わなかった。しかもヨセフは体格も良く、顔立ちも美しかった。

39:7 これらのことの後、主人の妻はヨセフに目をつけて、「一緒に寝ましょう」と言った。

39:8 しかし彼は拒んで、主人の妻に言った。「ご覧ください。ご主人は、家の中のことは何でも私に任せ、心配せずに全財産を私に委ねられました。

39:9 ご主人は、この家の中で私より大きな権威をふるおうとはせず、私がするどんなことも妨げておられません。ただし、あなたのことは別です。あなたがご主人の奥様だからで

す。どうして、そのような大きな悪事をして、神に対して罪を犯すことができるでしょうか。」

39:10 彼女は毎日ヨセフに言い寄ったが、彼は聞き入れず、彼女のそばに寝ることも、一緒にいることもしなかった。

ポティファルの妻の年齢や容姿がどうであったかは分かりませんが、ある解説者は「女優の○○さんをイメージする」と書いている人もいます。また「寝ておくれ」という要求がヨセフにとって誘惑であったか、迷惑であったかもわかりません。しかしいずれにしても、ヨセフは主人と神様への忠実を貫き通しました。

その結果は大きな損失を被ることになるのですが、その後にはるかに大きな祝福をいただくことになるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 25日 火曜

### 創世記

39:11 このようなある日のこと、彼が仕事をしようとして家に入ると、家の中には、家の者が一人もいなかった。

39:12 彼女はヨセフの上着をつかんで、「一緒に寝ましょう」と言った。しかしヨセフはその上着を彼女の手に残し、彼女から逃れて外へ出た。

39:13 彼が上着を彼女の手に残して外へ逃げたのを見ると、

39:14 彼女は家の者たちを呼んで、こう言った。「見なさい。私たちに対していたずらをさせるために、主人はヘブル人を私たちのところに連れ込んだのです。あの男が私と寝ようとして入って来たので、私は大声をあげました。」

39:15 私が声をあげて叫んだのを聞いて、あの男は私のそばに上着を残して、外へ逃げて行きました。」

39:16 彼女は、ヨセフの主人が家に帰って来るまで、その上着を自分のそばに置いておいた。

39:17 彼女は主人に、このように告げた。「あなたが私たちのところに連れて来た、あのヘブル人の奴隷は、私にいたずらをしようとして私のところに入って来ました。」

39:18 私が声をあげて叫んだので、あの男は私のそばに上着を残して、外へ逃げました。」

39:19 彼の主人は、「あなたの奴隷がこのように私にしました」と告げた妻の言葉を聞いて、怒りに燃えた。

39:20 ヨセフの主人は彼を捕らえ、王の囚人が監禁されている監獄に彼を入れた。こうし



て彼は監獄に置かれた。

39:21 しかし、【主】はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心になうようにされた。

39:22 監獄の長は、その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手に委ねた。ヨセフは、そこで行われるすべてのことを管理するようになった。

39:23 監獄の長は、ヨセフの手に委ねたことには何も干渉しなかった。それは、【主】が彼とともにおられ、彼が何をしても、【主】がそれを成功させてくださったからである。

奴隷となったヨセフでしたが、その後は祝福されて「やはり主は見捨てなかった」という生涯になりました。しかしここに来て「やはり見捨てられた」と言ってもおかしくない状況になってしまいました。考えてみますと、私たちが恵が与えられたと思えば、次に苦しい試練が待っており、そうかと思うと「益とされた」というような展開があったりします。

地上に生きている間は様々な出来事の中で、そのたびに生きて働いておられる神様を体験することが出来ます。神様から目を離さないでいたいものです。

ヨセフにとっては次々と思いがけないことが起こり、その人生が目まぐるしく変わってしまうようですが、彼の信仰の態度は一貫しています。主への忠実です。それによって主は「ヨセフとともにおられ、恵をほどこして」くださったのです。

自分を守るために、信仰の態度をころころと変えるようなことはしないで、一貫して主に従う者となり、主からの恵をいただきたいものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 26日 水曜

### 創世記



40:1 これらのことの後、エジプト王の献酌官と料理官が、その主君、エジプト王に対して過ちを犯した。

40:2 ファラオは、この献酌官長と料理官長の二人の廷臣に対して怒り、

40:3 彼らを侍従長の家に拘留した。それは、ヨセフが監禁されているのと同じ監獄であった。

40:4 侍従長がヨセフを彼らの付き人にしたので、ヨセフは彼らの世話をした。彼らは、しばらく拘留されていた。

40:5 さて、監獄に監禁されていた、エジプト王の献酌官と料理官は、二人とも同じ夜にそれぞれ夢を見た。その夢にはそれぞれ意味があった。

40:6 朝、ヨセフが彼らのところに来て、見ると、彼らは顔色がすぐれなかった。

40:7 それで彼は、自分の主人の家に一緒に拘留されている、このファラオの廷臣たちに「なぜ、今日、お二人は顔色がさえないのですか」と尋ねた。

40:8 二人は答えた。「私たちは夢を見たが、それを解き明かす人がいない。」ヨセフは言った。「解き明かしは、神のなさることではありませんか。さあ、私に話してください。」

神様の偉大なご計画の前には、人間は小さくてまるで運命に翻弄されているようです。ヨセフの生涯も全くそのようで、彼は希望のない渦に巻き込まれて行くようですが、しかしその背後にあって導かれるのは、全能にして愛のある神様です。

ヨセフは奴隷でありながら、幸運な人とされてエジプトの高官の家において、しかもあらゆることに成功をし、非常に信頼されたのです。「もう希望がない」と思われるような状況にあっても、主は全能なのでそこから素晴らしいことを起こしてください。希望のないときは祈って待ち、主のみざわに目を凝らしてみましょ。

ヨセフが主に祝福されたのは、ただ主のご計画というだけではなく、彼が主に忠実であり、またそれゆえに主人にも忠実であったからです。どんな境遇に置かれても主を信頼して、投げやりになることなく忠実に自分の本分を全うしましょ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 27日 木曜

### 創世記



40:9 献酌官長はヨセフに自分の夢を話した。「夢の中で、私の前に一本のぶどうの木があった。  
40:10 そのぶどうの木には三本のつるがあった。それは、芽を出すと、すぐ花が咲き、房が熟してぶどうの実になった。  
40:11 私の手にはファラオの杯があったので、私はそのぶどうを摘んで、ファラオの杯の中に搾って入れ、その杯をファラオの手に献げた。」  
40:12 ヨセフは彼に言った。「その解き明かしはこうです。三本のつるとは三日のことです。  
40:13 三日のうちに、ファラオはあなたを呼び出し、あなたを元の地位に戻すでしょう。あなたは、ファラオの献酌官であったときの、以前の定めにしたがって、ファラオの杯をその手に献げるでしょう。  
40:14 あなたが幸せになったときには、どうか私を思い出してください。私のことをファラオに話して、この家から私が出られるように、私に恵みを施してください。  
40:15 実は私は、ヘブル人の国から、さらわれて来たのです。ここでも私は、投獄されるようなことは何もしていません。」  
40:16 料理官長は、解き明かしが良かったのを見て、ヨセフに言った。「私の夢の中では、頭の上に枝編みのかごが三つあった。  
40:17 一番上のかごには、ファラオのために、ある料理官が作ったあらゆる食べ物が入っていたが、鳥が私の頭の上のかごの中から、それを食べてしまった。」  
40:18 ヨセフは答えた。「その解き明かしは

こうです。三つのかごとは三日のことです。  
40:19 三日のうちに、ファラオはあなたを呼び出し、あなたを木につるし、鳥があなたの肉をついばむでしょう。」  
40:20 三日目はファラオの誕生日であった。それで彼は、すべての家臣たちのために祝宴を催し、献酌官長と料理官長を家臣たちの中に呼び戻した。  
40:21 そうして献酌官長をその献酌の役に戻したので、彼はその杯をファラオの手に献げた。  
40:22 しかし、料理官長のほうは木につるした。ヨセフが彼らに解き明かしたとおりであった。  
40:23 ところが、献酌官長はヨセフのことを思い出さずに、忘れてしまった。

ヨセフは夢を解き明かしましたが、エジプトにはそのような習慣があったようです。それで献酌官長たちは夢のことが大きな問題でした。エジプトでは当然、夢の解き明かしといっても神様とは関係なしに怪しげなものであったと思われま。しかし神様はその習慣を利用してヨセフの人生を導かれたのです。

奴隸として異国に連れて来られて、全く心細いヨセフではありませんが、どんな場所でも神は全能で、最善なことをなさる方です。希望を捨てないで行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 28日 金曜

### 創世記



41:1 それから二年後、ファラオは夢を見た。見ると、彼はナイル川のほとりに立っていた。  
41:2 すると、ナイル川から、つやつやした、肉づきの良い雌牛が七頭、上がって来て、葦の中で草をはんだ。  
41:3 するとまた、その後を追って、醜く痩せ細った別の雌牛が七頭、ナイル川から上がって来て、その川岸にいた雌牛のそばに立った。  
41:4 そして、醜く痩せ細った雌牛が、つやつやした、よく肥えた七頭の雌牛を食い尽くしてしまった。そのとき、ファラオは目が覚めた。  
41:5 彼はまた眠り、再び夢を見た。見ると、一本の茎に、よく実った七つの良い穂が出て来た。  
41:6 すると、その後を追って、しなびた、東風に焼けた七つの穂が出て来た。  
41:7 そして、しなびた穂が、よく実った七つの穂を?み込んでしまった。そのとき、ファラオは目が覚めた。それは夢だった。  
41:8 朝になって、ファラオは心が騒ぎ、人を遣わして、エジプトのすべての呪法師とすべての知恵のある者たちを呼び寄せた。ファラオは彼らに夢のことを話したが、解き明かすことのできる者はいなかった。  
41:9 そのとき、献酌官長がファラオに告げた。「私は今日、私の過ちを申し上げなければなりません。  
41:10 かつて、ファラオがしもべらに対して怒って、私と料理官長を侍従長の家に拘留されました。  
41:11 私と彼は、同じ夜に夢を見ました。それぞれ意味のある夢でした。

41:12 そこには、私たちと一緒に、侍従長のしもべで、ヘブル人の若者がいました。私たちが彼に話しましたところ、彼は私たちの夢を解き明かしてくれました。それぞれの夢にに応じて、解き明かしてくれたのです。  
41:13 そして、彼が私たちに解き明かしたとおりになり、ファラオは私を元の地位に戻され、料理官長は木につるされました。」  
41:14 ファラオは人を遣わして、ヨセフを呼び寄せた。人々は急いで彼を地下牢から連れ出した。ヨセフはひげを剃り、着替えをして、ファラオの前に出た。  
41:15 ファラオはヨセフに言った。「私は夢を見たが、それを解き明かす者がいない。おまえは夢を聞いて、それを解き明かすと聞いたのだが。」  
41:16 ヨセフはファラオに答えた。「私ではありません。神がファラオの繁栄を知らせてくださるのです。」

ヨセフのことがエジプト王パロに知られるまでには、さらに2年を要しました。想像の域を超えませんが、この献酌官長が牢から出て復権するまでに2年かもしれません、またはその後ヨセフが奴隷から大臣になるためのエジプト内の事情の変化かもしれません。いずれにしても、主は最高に良いタイミングを用意しておられたに違いありません。

その中でヨセフは神様に対する信頼は少しも変わっていませんでした。神様が夢を解き明かしてくださるという、全能の神の力を信じていました。また神様と信頼の交わりをしていたので、自分に神様は教えてくださるという確信があったのでしょう。さらには王という最高権力者の前でも臆することなく、また虚勢を張ることもなく、自然な自分の信仰のままに実践しています。これも神

様という宇宙の最高権力者と信頼の交わりを続けていたことからでしょう。

「なぜ神様はすぐに助けてくれないのか」「早くわざを行ってくださらないのか」「なぜあのとき守ってくださらなかったのか」と神様を恨みたくなるようなこともあります。しかし、神様は最善のことをいつもしてくださるのです。信頼し、その信頼のゆえに主との良い交わり(おもにディポジション)を続けていきましょう。それが主の力によって勝利する道です。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



## 29日 土曜

### 創世記



41:17 それで、ファラオはヨセフに話した。「夢の中で、見ると、私はナイル川の岸に立っていた。

41:18 すると、ナイル川から、肉づきの良い、つやつやした雌牛が七頭上がって来て、葦の中で草をはんでいた。

41:19 すると、その後を追って、弱々しい、とても醜く痩せ細った別の雌牛が七頭、上がって来た。私は、このように醜い牛をエジプト全土でまだ見たことがない。

41:20 そして、この痩せた醜い雌牛が、先の肥えた七頭の雌牛を食い尽くしてしまった。

41:21 ところが、彼らを腹に入れても、腹に入ったのが分からないほど、その姿は初めと同じように醜かった。そのとき、私は目が覚めた。

41:22 また、夢の中で私は見た。見ると、一本の莖に、よく実った七つの穂が出て来た。

41:23 すると、その後を追って、貧弱で、しなびた、東風に焼けた七つの穂が出て来た。

41:24 そして、そのしなびた穂が、あの七つの良い穂を?み込んでしまった。そこで私は呪法師たちに話したが、だれも私に説明できる者はいなかった。」

41:25 ヨセフはファラオに言った。「ファラオの夢は一つです。神が、なさろうとしていることをファラオにお告げになったのです。

41:26 七頭の立派な雌牛は七年のことで、七つの立派な穂も七年のことで、それは一つの夢なのです。

41:27 その後から上がって来た七頭の痩せた醜い雌牛は七年のことで、痩せ細り東風に焼けた七つの穂も同様です。それは飢饉の七年

です。

41:28 これは、私がファラオに申し上げたとおり、神が、なさろうとしていることをファラオに示されたのです。

41:29 今すぐ、エジプト全土に七年間の大豊作が訪れようとしています。

41:30 その後、七年間の飢饉が起こり、エジプトの地で豊作のことはすべて忘れられます。飢饉が地を荒れ果てさせ、

41:31 この地の豊作は、後に来る飢饉のため、跡も分からなくなります。その飢饉が非常に激しいからです。

41:32 夢が二度ファラオに繰り返されたのは、このことが神によって定められ、神が速やかにこれをなさるからです。

41:33 ですから、今、ファラオは、さどくて知恵のある人を見つけ、その者をエジプトの地の上に置かれますように。

41:34 ファラオは、国中に監督官を任命するよう、行動を起こされますように。豊作の七年間に、エジプトの地の収穫の五分の一を徴収なさるためです。

41:35 彼らに、これからの豊作の年のあらゆる食糧をすべて集めさせ、ファラオの権威のもとに、町々に穀物を蓄えさせるのです。彼らは保管し、

41:36 その食糧は、エジプトの地に起こる七年の飢饉のために、国の蓄えとなります。そうすれば、この地は飢饉で滅びることがないでしょう。」

エジプトは当時の最強国であり、その王パロといえは世界の最高権力者です。そうであってもききんなどの自然の前には何もできない弱い者であり、また神がなさろうとするご計画を止めること

はできない人間であり、また将来の不安の前にもなすすべもなく不安に陥る存在です。どんな権力者であっても、その人に頼りきることはできません。また恐れることはありません。神を恐れ、また神に信頼して頼れば間違いはありません。

神様のみこころを知る者が本当の力を持つ者です。神様はその後イスラエルには旧約聖書を、そして全人類に旧約と新約聖書を著し、みこころを明らかにしてくださいました。私たちは聖書の裏付けによって、ヨセフのようにみこころを知り、勝利を得ることができました。

また時になかった固有の問題に関しても、神様はご自分に従う弟子を通してご計画を教えてくださいます。つまり、祈ってみることばをいただくことと、それを聖霊によって自身に適用することです。

ヨセフはかつては、夢や幻を見てもそれで徳を高めることもなく、自己主張して混乱や反感を買うような者でした。しかし今や、どんな境遇でも主に信頼し、人に仕え、主の栄光を求めめる者となりました。ですから神様はヨセフを通してご自身のなさることを明らかにされたのです。

人を恐れず主に信頼し、自己主張よりも主のみこころに目を留めて、そのご計画を教えてくださいいただくような者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



41:37 このことは、ファラオとすべての家臣たちの心になかった。

41:38 そこで、ファラオは家臣たちに言った。「神の霊が宿っているこのような人が、ほかに見つかるだろうか。」

41:39 ファラオはヨセフに言った。「神がこれらすべてのことをおまえに知らされたからには、おまえのように、さとくて知恵のある者は、ほかにはいない。

41:40 おまえが私の家を治めるがよい。私の民はみな、おまえの命令に従うであろう。私がまさっているのは王位だけだ。」

41:41 ファラオはさらにヨセフに言った。「さあ、私はおまえにエジプト全土を支配させよう。」

41:42 そこで、ファラオは自分の指輪を指から外してヨセフの指にはめ、亜麻布の衣服を着せ、その首に金の首飾りを掛けた。

41:43 そして、自分の第二の車に乗せた。人々は彼の前で「ひざまずけ」と叫んだ。こうしてファラオは彼にエジプト全土を支配させた。

41:44 ファラオはヨセフに言った。「私はファラオだ。しかし、おまえの許しなくしては、エジプトの国中で、だれも何もすることができない。」

41:45 ファラオはヨセフにツァフェナテ・パネアハという名を与え、オンの祭司ポティ・フェラの娘アセナテを彼の妻として与えた。こうしてヨセフはエジプトの地を監督するようになった。

ヨセフの身に驚くことが起こりました。十数

年間エジプトに過ごし、奴隷の身でありましたが、ここで王に告ぐ権力者になったのです。ヨセフは奴隷としてエジプトに来てから、初期を除いては全くその身分に改善はありませんでした。一般的に人は誰も、「少しずつでも人生を良くしていきたい」と願うものですが、それからしたらヨセフの人生は裏切られる連続だったのです。しかしそれも神様のご計画にあったことです。

ヨセフは単に夢を解き明かすだけでなく、王にききんを乗り切る方策を提案しています。これはかつて農業に携わっていたこと、またポティファルのもとで管理者であったこと、そしてもしかしたら獄中で思索することなどによって得た知恵であったと思われます。主の導かれる人生や境遇に決して無駄なものはないのです。

また王はヨセフを全く信頼しましたが、それはヨセフが神様に従い信頼してきたことと深く関係しているでしょう。彼は策略をもって目的を成し遂げようとはしません。また自分の目的のために人を利用しようとはしません。王は彼の人間性を信頼したのですが、それは神様への信仰の賜物です。

主への純粋な信仰によって、来るべき主からの解決と希望の日に備えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

